

2004 年度 帰国子女入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学 科	内 容
絵画学科 日本画専攻	表現力、技術力、絵画に対する思考力、人格資質、学業に対する情熱を総合的に所見し採点基準としました。
グラフィックデザイン学科	出題のねらいは、デザイナーとしてヴィジュアルコミュニケーション効果を造り出す為に必要なデッサン力を求めています。それには、創作の原点ともなる観察力、そこから生まれる発見やひらめきなどを描けるのかを審査し採点基準としました。
生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻	モチーフ(チリトリ)の一部(ハンドル)を自由にデザインした鉛筆デッサンと面接による評価を行ないました。鉛筆デッサンでは、モチーフの基本的な形状や、構造、材質感が描けているか、モチーフの一部のり・デザインに独創的で理にかなったアイデアが表現されているかを評価の基準としました。面接では、しっかりと自分の考えを伝えられるか、学習目標は明確かななどを採点基準としました。
環境デザイン学科	一般入試では著しく不利になるような日本語能力のハンディキャップ、または日本の入試制度から離れていたことによるハンディキャップがあるか、あるいは海外で教育を受けたことのメリットが能力に大きく影響し、そのことが本学科で学ぶことによってさらに成長する可能性があるか、本学科一般入試と同レベルのデッサン力があるか、それらを判断基準としました。
全学科共通 小論文	論旨の一貫性、表現の的確さ・豊富さ、分量の適切さを採点基準としました。

「受験者がいない」あるいは「採点基準の公表を差し控えている」学科・専攻につきましては、掲載しておりません。

2005年度帰国子女入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接		
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント	小論文 利用	実技試験 作品利用
油 画	出題のモチーフはモデル(白のそでなしシャツにジーンズ、素足)が椅子に腰掛け両手でコップに生けた小型の観葉植物を持っているというものです。モデルと小植物という生きてあるもの、生きようとするものの取り合わせを形体、空間感、コンポジションを通じて造形的に表現してみなさいということです。人物の形体を適確に表現できているか、手に持った植物と人間の空間関係をどうつかまえているか、色彩が豊かに表現されているか、それらをどう総合して造形化できているかを採点のポイントとしました。	入学後、何をしたいか等、志望理由が明確か。自作の制作意図をきちんと述べられるか。美術全般に対して興味の持ち方、意欲、積極性。海外生活の様子と日本語の力。		
工 芸	基礎的な実技が他学生と競い合って学習できるレベルにあるかを見ます。静物を自分の目で正確に捉えることが出来ているか。これを踏まえて作品が強くアピールしているものは好感を持って受け入れられます。	実技作品は必要に応じ利用し面接を行いません。採点のポイントについて記することは困難を伴います。各受験生の個性の発見に重きを置くためによります。独自性を持って面接に望むことが最善の方法と考えます。		必要に応じ 利用
グラフィック デザイン	出題のねらいは、デザイナーとしてビジュアルコミュニケーション効果を造り出すために必要なデッサン力を求めています。それには、創作の原点ともなる観察力、そこから生まれる発見やひらめきなどを描けるのかを問います。	面接試験のねらいは、当学科への授業への取り組みの意欲を把握し、作品・ポートフォリオによって基礎的な造形力の評価を行います。		
プロダクト デザイン	鉛筆デッサンでは、モチーフの基本的な形や構造、材質感が描けているか、モチーフの一部のリ・デザインに独創的で理にかなったアイデアが表現されているかが評価の基準となっています。	面接では、しっかりと自分の考えを伝えられるか、学習目標は明確かななどを採点基準としました。		
環境デザイン	本学一般入試と同レベルのデッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるかどうか。	一般入試では著しく不利になるような日本語能力のハンディキャップ、または日本の入試制度から離れていたことによるハンディキャップがあるか。あるいは海外で教育を受けていたことのメリットが能力に大きく影響し、それが本学科で学ぶことによってさらに成長する可能性があるか。デッサン以外のデザイン力をポートフォリオによって評価しました。		
情報デザイン	日常生活における観察力、それを言葉で表現する記述力、事柄の仕組みや背景についての理解力、分析力、作品表現における構成力、発想力、独創力を評価しました。	これまで学んできた内容と、本学での学習目標、学ぶ意欲、将来へ向けての目的意識について自分の考えを伝えられるかを審査し、採点基準としました。		

全学科共通小論文

留学生入試と同じ問題を使用しつつも、日本人としての母国語による表現能力、すなわち自然な日本語が書けるか否かを見ます。したがって、ほとんど漢字が使われてない文章、数多くの誤字が減点対象になる一方で、出願者の意図が素直に表現されている文章は、その度合いに応じて評価されます。